

各機関における取り組み状況

機関名 岡谷市

取り組み項目	取組状況(写真等)	取組の概要												
<p>市独自の雨量計の設置（岡谷市）</p>	 <p>雨量計設置状況</p>  <p>メール配信状況</p>	<p>市内 8 箇所に独自の雨量計を設置し、リアルタイムの雨量情報をきめ細かく入手し、基準雨量(10分、1時間等)を設定し、大雨の際には担当職員の携帯電話に自動的にメール配信を行う。</p>												
<p>防災ラジオの配布</p>	 <p>防災ラジオ</p>	<p>必要な防災情報を的確に伝えるため、防災行政無線の内容が自動的に受信できる防災ラジオの配布をおこなった。 (2009.1.現在 約 12,000 台配布)</p>												
<p>地域連絡員の配置</p>	 <p>地域連絡員任命式</p>	<p>災害対策本部と地域との橋渡しを担当する市職員を「地域連絡員」として、各区に 2 名任命、派遣し、地域の情報収集、地区との連絡調整を行うこととした。</p>												
<p>避難準備、避難勧告発令のための雨量基準等の整備</p>	<table border="1" data-bbox="438 1276 989 1523"> <thead> <tr> <th>避難準備基準</th> <th>基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>時間雨量</td> <td>20mm以上が予想される時 もしくはあった時</td> </tr> <tr> <td>連続雨量</td> <td>80mm以上が予想される時 もしくはあった時</td> </tr> <tr> <th>避難勧告基準</th> <th>基準</th> </tr> <tr> <td>時間雨量</td> <td>30mm以上が予想される時 もしくはあった時</td> </tr> <tr> <td>連続雨量</td> <td>90mm以上が予想される時 もしくはあった時</td> </tr> </tbody> </table> <p>なお、避難基準の運用については、上記雨量基準のほか、各河川の状況やその他の情報を総合的に勘案する中で、地元区と協議の上、実施していきます。</p>	避難準備基準	基準	時間雨量	20mm以上が予想される時 もしくはあった時	連続雨量	80mm以上が予想される時 もしくはあった時	避難勧告基準	基準	時間雨量	30mm以上が予想される時 もしくはあった時	連続雨量	90mm以上が予想される時 もしくはあった時	<p>降雨状況によって住民の円滑な避難が行えるように雨量基準等を定め、避難準備・避難勧告を発令し、地域住民の安全確保を図るための体制を整備。 また、雨量計等の雨量情報から、今後河川において溢水が予想されるか、あった場合に防災無線の放送により注意を喚起する放送の実施。</p>
避難準備基準	基準													
時間雨量	20mm以上が予想される時 もしくはあった時													
連続雨量	80mm以上が予想される時 もしくはあった時													
避難勧告基準	基準													
時間雨量	30mm以上が予想される時 もしくはあった時													
連続雨量	90mm以上が予想される時 もしくはあった時													
<p>行政チャンネルの実施 (H19.11.8～)</p>	 <p>11月8日(木)からスタート! シルキーチャンネル</p>	<p>緊急情報の入手手段として、地元ケーブルテレビ LCV の 13 番目のチャンネルを使って、非常時はもちろんのこと、日常的に岡谷市内の様々な情報を市民に、伝える手段として、「岡谷市行政チャンネル」として開局した。これにより、緊急情報発信にも迅速に対応し、パソコンや広報誌が無い状況下でも市民が簡単に情報を入手することが可能となった。</p>												



取り組み項目	取組状況(写真等)	取組の概要
<p>自主防災組織 連絡協議会の設 立</p>	 <p>岡谷市自主防災組織連絡協議会発足式</p>	<p>自主防災組織も災害を受け、横の連絡調整が必要なことより、岡谷市自主防災組織連絡協議会立ち上げ、20年5月に発足式を行いました。</p>
<p>地域住民と協働で土砂災害にたいする全国統一防災訓練</p>	 <p>平成19年三沢区訓練状況 積土のう訓練</p>  <p>平成20年間下区訓練状況 福祉施設避難訓練</p>	<p>市・区・自主防災組織・福祉施設・県・警察が協働して土砂災害にたいする全国統一防災訓練を実施し、災害関連情報の収集と災害時における情報の伝達及び自助・共助による迅速な避難行動の訓練を19年度より毎年実施。</p>
<p>水防訓練</p>	 <p>平成19年シート張り工</p>  <p>平成20年改良積土のう</p>	<p>消防団・自主防災組織・市職員が参加し諏訪建設事務所職員から指導を受け、土のう積み、シート張り工等の水防訓練を実施</p>
<p>越水防止の対策及び河川整備</p>	 <p>改修前</p>  <p>改修後</p>  <p>浚渫状況</p>	<p>水害に備え、市管理の河川について浚渫や、護岸改修等の河川整備を実施した。</p>
<p>災害復旧事業と河川改修事業を組み合わせた河川整備（河川等災害関連事業）</p>	<p>・詳細別紙参照</p>  <p>完成写真</p>	<p>平成18年7月19日の豪雨により、普通河川大洞沢川上流部で石積護岸が破損し河床が洗掘され、上流部から流れてきた土砂が、下流部の狭い暗渠区間で閉塞溢水し、住宅などに大きな被害が生じた。</p> <p>そのため、大洞沢川の災害復旧は、被災箇所だけの工事では十分な効果が期待できず、再度災害の発生する恐れが懸念されたため、災害復旧事業と河川改修事業を組み合わせた河川整備を行った。</p>

# 各機関における取り組み状況

機関名 諏訪市

取り組み項目	取組状況(写真等)	取組の概要
<p>諏訪市マルチハザードマップの作成・全戸配布</p>	<p>諏訪市で発生する可能性の高い「洪水」、「土砂災害」、「地震」の三つの災害に重点をおき、マップを作成</p> <p>《洪水》 河川氾濫、内水氾濫などの想定浸水区域</p> <p>《土砂災害》 土砂災害警戒区域、土砂災害特別警戒区域</p> <p>《地震》 揺れやすさマップ 危険度マップ</p> <p>市内8会場で全戸配布時にマップの見方の住民説明会の実施 地区出前講座を活用して説明会の実施</p>  <p>説明会風景</p> <p>ハザードマップのHPアップ マップの全ページをHPへ掲載 GISによるハザードマップを作成中 (年度未完成予定)</p>	<p>地域の発生する恐れのある災害、その危険度を示すことにより、家庭や区、事業所などで効果的な防災対策の推進や早期の避難判断に役立つ</p> 
<p>防災訓練</p>	<p>避難所開設訓練</p> 	<p>地域住民と避難所担当職員による避難所開設訓練</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>避難所ボード(避難所区切り板)組み立て訓練の実施</li> </ul>

取り組み項目	取組状況(写真等)	取組の概要
衛星携帯電話		災害時の通信確保 <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害対策本部用 1</li> <li>・災害現場用 1</li> <li>・携帯電話不通地域配備 1</li> </ul>
自主防災組織の強化	 <p>消防団、地域住民共同による土のう積み訓練（市防災訓練）</p>	組織率 88% <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災資機材整備費補助事業</li> <li>・地区防災活動マニュアルの見直し</li> <li>・災害時要援護者への支援活動</li> <li>・出前講座による住民意識の高揚</li> <li>・地区防災訓練の実施</li> </ul>
内水排除ポンプ更新		市内各所に設置してある内水排除ポンプのうち、老朽化等により排水能力の低下しているポンプ場について、年次計画により施設更新整備、充実を図っている。
自然災害防止		大雨出水時の流量に備え、氾濫等災害防止対策事業により河川の整備を実施している。 また、河川激特事業に関連する流入河川の整備を図っている。



取り組み項目	取組状況(写真等)	取組の概要
河川の浚渫		<p>市内の中小河川の堆積土砂の除去を行ない、流量を確保し、災害の防止を図っている</p>
水防訓練		<p>市街地等の舗装路でも設置できる、鉄杭を使わないで、ブルーシートを用いる「改良土嚢工法」を採用した訓練を実施した。</p>
救護大会の開催		<p>AED, CPR(心肺蘇生法) 外傷の手当などの想定で、35チームが参加して救護技術を競った。</p>
消防団幹部の災害時連絡体制の整備		<p>消防団幹部の連絡網は一般電話の他、携帯電話メール、パソコンメールで相互または一斉に配信できる。</p>

(別紙 - 2)

「水害に強いまちづくり協議会」取り組み状況

機関名 茅野市

取り組み項目	取組状況(写真等)	取組の概要
<p>地域住民と共同で水防・土砂災害訓練を実施 (金沢地区)</p>	 <p>住民参加の避難(災害時要援護者)</p>  <p>消防団による水防工法訓練(木流し)</p>	<p>団・区・自治会・地区自主防災組織が合同で水防訓練と土砂災害想定訓練へ参加し、災害への対応を習得しながら共助連携体制の創出を行った。</p> <p>住民参加型により、自力で避難できない高齢者や障害者などの災害時要援護者への情報伝達や避難の支援を実施して相互扶助の必要性を認識してもらった。</p>  <p>消防団による水防工法訓練(シート張り)</p>
<p>茅野市防災訓練の実施 (東部中学校)</p>	 <p>(避難所訓練状況)</p>  <p>(炊き出し訓練状況)</p>	<p>東海地震における地震防災対策強化地域に指定されている他、糸魚川 静岡構造線を震源とした地震が発生した場合の被害想定は大変大きなものになる。</p> <p>大規模な地震が発生した場合を想定し、避難所開設運営にあたり、市民及び防災機関が連携し、円滑な避難所運営を訓練を行なった。</p>
<p>自主防災組織による水防工法の訓練を実施 (湖東 中村区)</p>	 <p>(住民による土のう作り)</p>	<p>主に震災時における自主防災訓練で、災害対応技術の習得の一つとして、水害ならびに土砂災害時に必要な工法を住民が習得し、水害の減災が図られるように水防訓練を行った。</p> 
<p>地域住民による水害事前対応策の実施 (ちの 駅前)</p>	 <p>水防資材の事前配備(土のう)</p>	<p>地域の水害特性を勘案し水害に対応するため、日常からの備えや水防対策のため必要な水防資材を地域へ備蓄し減災対策を実施した。</p>

取り組み項目	取組状況(写真等)	取組の概要
危険箇所調査 (市内 全域)		出水期にそなえ、事前に(5月15日)市内の危険箇所調査を庁内の関係各課、警察と合同で行ない、工事済みでの除外、新に生じた箇所を確認し、20年度茅野市防災会議に調査結果を報告した。 20年度 茅野市災害危険箇所調査集計 <ul style="list-style-type: none"> <li>・水防上の危険箇所 25箇所</li> <li>・急傾斜危険箇所 30箇所</li> <li style="text-align: right;">計 55箇所</li> </ul>
茅野市洪水ハザードマップ住民説明会 (宮川 新井区)	 <p>【住民説明会の様子(新井地区)】</p>	洪水ハザードマップの作成にあたり、浸水想定区域図等を使用し、関係地区への説明会の開催を行い、地元からの意見や、防災上の課題等の意見について聞き取り整理した。 説明会状況 <ul style="list-style-type: none"> <li>・説明会会場 8箇所</li> <li>・説明関係区 12区</li> <li>・出席者 119名</li> </ul>
防災ガイドブック・防災マップの作成・配布 (市内 全戸)		多発する災害に対し「自分の身を守るためにはどのような準備が必要か?災害時にはどのように行動するべきか?」など自助・共助の取り組みが重要かつ必要であり、家庭・地域でハザードや避難所等を確認いただき、災害時に冷静かつ迅速に行動をできるように、防災ガイドブックを市内の全戸に配布した。
防災ラジオの配布 (全市民 対象)	 <p>(茅野市防災ラジオ)</p>	市が行なう災害対策及び行政事務等の重要な防災行政無線での情報を、ご家庭内にて聞き取りができるよう、自動受信を備えた防災ラジオの配布を行った。

取り組み項目	取組状況(写真等)	取組の概要
浸水地域への対策 (ちの上原)	 <p data-bbox="411 667 730 696">河川護岸壁嵩上げ工事の実施</p>	<p data-bbox="794 232 1430 338">ゲリラ的豪雨による屈曲箇所等の跳水により周辺地域が浸水した。急きょ、水衝部の嵩上げを実施した。</p>
	 <p data-bbox="435 1059 655 1088">排水施設の設置検討</p>	<p data-bbox="794 748 1430 853">護岸壁の嵩上げ設置を行い、水門の設置及び排水ポンプの設置を実施検討を行い、平成21年度早期施設を行う</p>
冠水地域への取組 (宮川茅野区)	 <p data-bbox="467 1350 647 1379">(河川冠水状況)</p> <p data-bbox="515 1615 743 1644">(災害実地査定状況)</p>	<p data-bbox="794 1093 1430 1198">湾曲部の編流による堆積土砂撤去、洗堀護岸の公共土木施設災害復旧事業による復旧工事を実施した。</p>
自然災害防止事業の実施 (ちの上原)	 <p data-bbox="491 1865 600 1895">(施行前)</p> <p data-bbox="563 2096 671 2125">(施行後)</p>	<p data-bbox="794 1662 1430 1731">中小河川の狭隘箇所を自然災害防止事業により改修を積極的に実施している。</p>



# 各機関における取り組み状況

機関名 下 諏 訪 町

取り組み項目	取組状況(写真等)	取組の概要
下水道雨水事業 (下諏訪町広瀬町)	 (施工中)  (整備後)	<p>下諏訪駅前を中心とする市街中心部は、近年の都市化の進行と異常気象による豪雨などにより雨水流出量が増大し、度々浸水被害が発生していた。浸水被害の解消のため、当該市街中心部約176haを対象とした雨水対策事業として、雨水渠の整備を行った。</p>
市街地浸水対策 (下諏訪町御田町、 下諏訪町湯田町、 下諏訪町西四王)	 (下諏訪町御田町 左：平成18.7災害、右：現在施工中)  (下諏訪町湯田町 整備後)  (下諏訪町西四王 整備後)	<p>「地域活性化緊急安心実現総合対策交付金」制度を積極的に利用し、一端強い雨が降ると家屋浸水被害が発生していた地域において、排水施設の整備を実施している。</p> <p>また、町単独事業としても、排水路の断面拡張等の対策事業を実施している。</p>
河川の流下能力の維持 ((一)砥川)	 (作業前)  (作業後)  (作業中)	<p>地元組織「砥川を愛する会」を中心とした官民協働作業による(一)砥川の堤外地に植生するヨシ・ニセアカシア等の除伐作業により、河川の流下断面を確保し、流下能力低下の防止を図っている。</p>
水防協議会	 会議の様子  危険箇所視察	<p>年1回水防協議会委員により下諏訪町水防計画の見直し、水防訓練の計画、水防上警戒を要する箇所のパトロールの実施。</p>


取り組み項目	取組状況(写真等)	取組の概要
水防訓練	 <p>土のう作り</p>  <p>シート張り工</p>	<p>年1回下諏訪町、下諏訪町消防課、下諏訪町消防団、下諏訪町赤十字奉仕団、消防防災協力員、各区自主防災組織が参加し、諏訪建設事務所職員から指導を受け実戦的な水防訓練を実施。</p> <p>木流し工、シート張り工、積み土俵工、土のう作り、土のう搬送に別れ訓練を行う。また、同時に20年度に購入した消防団波無線を使っての情報収集、伝達体制の強化を図る。</p>
デジタル雨量計の設置	 <p>東俣浄水場</p>  <p>いずみ湖研修の家</p>	<p>砥川、承知川上流と役場に雨量計を設置。</p> <p>このシステムは光回線で結ばれ、リアルタイムの雨量情報が、役場サーバーに送られ関係職員の各パソコンで24時間閲覧可能。また、時報から年報管理、累積雨量等の各種情報の管理を行っている。</p>
地域防災地区担当職員制度	 <p>防災訓練時において「緊急時用浄水装置」取扱いを指導する担当職員</p>	<p>地域における危機管理体制の強化と防災力向上のため、各区に2名の職員を担当として任命</p> <p>各区の会議に自主防災会からの要請により出席し、日頃から地域とのコミュニケーションを図り、常に自主防災会長との連絡を密にし、災害対策本部等との連絡調整を行う。</p> <p>自主防災会長との連絡調整 情報収集、伝達 避難に関すること 応援、支援物資の要請調達 等</p>
「消防防災協力員」制度	<p>委嘱式</p>  <p>配備品</p> 	<p>消防団の後方支援や地域における継続した防災力を承継するために、消防団OBや学識経験者を中心とした組織を編成</p> <p>水防活動時において、消防団と共に自主防災組織の指導、応援などにあたっている。</p> <p>平成20年現在 120名</p>

取り組み項目	取組状況(写真等)	取組の概要
防災ラジオの配備		<p>住宅事情の変化や豪雨時等、防災行政無線難聴地区解消のため、希望者に対し、防災行政無線が自動的に受信できる防災ラジオの斡旋を行った。</p> <p>現在、全世帯の約 1/4 に配備</p>
自主防災会及び住民を対象とした講習会		<p>局地的に発生する豪雨災害に対し自主防災会としての行動や地域、自宅における備え等を地域の防災講演会を通じ啓発</p>
地震水防図上訓練		<p>自分達の生活圈地図を使用し、浸水想定区域の設定や土砂災害危険箇所の確認、災害時要援護者の確認、支援者の拾い出し</p>

# 各機関における取り組み状況

機関名 富士見町


取り組み項目	取組状況(写真等)	取組の概要
消防団員のトリアージ訓練	<p>現地トリアージ [一次トリアージ] </p> <p>病院トリアージ [二次トリアージ] </p>	<p>負傷者が多数発生する災害を想定し、医師・看護師・保健師・救急隊・消防団が連携して災害トリアージの訓練を合同実施した。消防団員は模擬負傷者となって、災害特有の医療活動の流れを会得した。</p>
土砂災害ハザードマップ作成と配布		<p>土砂災害ハザードマップを作成し、全戸配布した。</p>
同報無線設備設置		<p>町内全域69箇所へ野外拡声子局(同報無線)を、平成20年度、21年度の2カ年工事で整備中。</p>
町全職員と消防団幹部への緊急メールの配信		<p>気象警報の発令及び震度5弱以上の地震が発生した場合、防災関係者(町職員、消防団)の携帯電話にメールを配信し、情報を共有する。</p>

取り組み項目	取組状況(写真等)	取組の概要
<p>自主防災組織の設立</p>		<p>町内全集落が自主防災組織を設立し、防災資機材の整備を図っている。</p>
<p>雨量計設置</p>		<p>単独で町内3箇所へ雨量計を設置し、リアルタイムの雨量情報を職員が誰でも入手することができる。</p>

# 各機関における取り組み状況


機関名 原 村

取り組み項目	取組状況(写真等)	取組の概要
<p>室内区自主防災組織と連携して原村総合防災訓練を実施</p>	<p>室内公民館への避難訓練</p> 	<p>村と連携し、室内区自主防災組織は、救助・救護訓練、消火訓練を実施。また、自主防災組織独自で災害時支え合いマップに基づく避難訓練を行い、避難確認・被害把握を行った。主会場である室内公民館では、災害写真や避難用具等の展示を行った。</p>
<p>各区(自治会)に自主防災組織の整備を依頼</p>		<p>各区自主防災組織は、組織体制が不明確であり、積極的な活動が行われてこなかったため、昨年4月の区長懇談会において各区自主防災組織の再整備を依頼した。必要に応じ、各区(自治会)に出向いて説明会を実施している。</p>
<p>原村地域防災計画・原村国民保護計画の策定</p>	<p>原村地域防災計画 原村国民保護計画</p> 	<p>原村地域防災計画は平成6年に策定しているが、平成14年には原村を含む諏訪地域は新たに東海地震に係る地震防災対策強化地域に指定され、また村の現状や組織編制等が変化したため、新たに策定。</p> <p>原村国民保護計画は、外国からの武力攻撃や大規模なテロなどが発生した場合、迅速・的確に住民の避難や救援を行うため、国民保護協議会の委員の意見などを踏まえ策定した。</p> <p>両計画とも、原村ホームページで閲覧可能。</p>
<p>原村防災・国民保護ガイドブックの作成・全戸配布</p>	<p>原村防災・国民保護ガイドブック</p> 	<p>原村地域防災計画・原村国民保護計画の住民への周知、避難場所の周知のため、原村防災・国民保護ガイドブックを作成し、全戸配布した。避難場所を載せた原村防災マップのほか、風水害・地震・火災対策や、非常持出品・備蓄品リスト、応急手当、緊急時のテレホンガイドなどを掲載した。</p>

取り組み項目	取組状況(写真等)	取組の概要
<p>消防団員が水防訓練を実施</p>	<p>水防工法用土のう作成</p>  <p>ロープ結索訓練</p>	<p>毎年梅雨期を前に消防団員が、土のう積工法、木流し工法の実施し水防時の活動が迅速かつ適切に対応できるようにした。又、訓練に作成した土のうは、屯所に備蓄し有事に備えている。</p>

## 各機関における取り組み状況



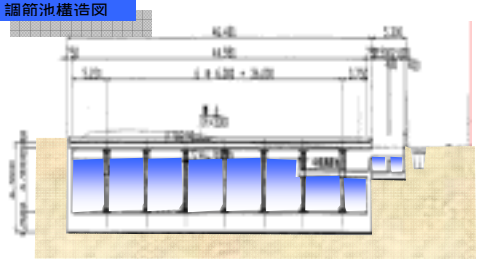


機関名 諏訪地方事務所

取り組み項目	取組状況（写真等）	取組の概要
<p>災害時交通情報伝達システムの構築作業</p>	<p>交通情報伝達訓練の様様</p>  <p>(記者会見訓練)</p>	<p>災害時に、長野県災害対策本部諏訪地方部において、諏訪地域の道路交通規制の情報を収集して、諏訪地域の市町村等関係機関相互で情報を共有化するとともに、住民にその情報を提供するため、災害時交通情報伝達システムを構築する。</p> <p>現在、平成 21 年 4 月からの運用を目差し、関係機関担当者による検討会及び問題点の把握・検証のための交通情報伝達訓練を行っている。</p>



# 各機関における取り組み状況

機関名 諏訪建設事務所

取り組み項目	取組状況(写真等)	取組の概要
量水標の設置 (水位周知河川)	 <p style="text-align: center;">医王渡橋水位観測局</p>	<p>水位周知河川の河川水位観測地点に、水防団待機水位、氾濫注意水位、避難判断水位、氾濫危険水位をわかりやすくするために色付きの量水標を設置しました。</p> <p>H19年度 4箇所</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>砥川 医王渡橋観測局</li> <li>横河川 長地観測局</li> <li>上川 銭場観測局</li> <li>宮川 安国寺観測局</li> </ul>
量水標の設置 (諏訪湖)	 <p style="text-align: center;">諏訪市 北町張樋門</p>	<p>諏訪湖に流入し、ゲート操作を必要とする水門・樋門等管に量水標を設置し、水門・樋門等のゲート操作をしやすくします。</p> <p>H20年度 30箇所(予定)</p> <p>千貫溝(セガミ)樋門他</p>
大川調節池の整備(総合流域防災事業)	 <p style="text-align: center;">調節池構造図</p>  <p style="text-align: center;">大川から溢れ出た水が左側の調節池に飲み込まれる</p>  <p style="text-align: center;">H21.6.23 豪雨時の貯水状況</p>	<p>大川は塩嶺峠から岡谷中心市街地を流下し、塚間川に合流する一級河川です。</p> <p>近年宅地化が進み、アスファルト舗装や構造物により地中への浸透力が低下したことから洪水流量が増加し、浸水被害が頻繁に発生しています。</p> <p>このように、河川の流下能力の向上が必要ですが、河川の全面的な断面拡幅による河川改修は、多くの家屋移転を伴い、多額の費用を要するため、下流河川改修と調節池とを組み合わせた治水対策を実施することで、浸水被害を軽減し、地域の発展に寄与するものです。</p>